

令和元年度第1回青森市民図書館協議会会議概要

- 1 日時 令和元年11月5日(火) 15時30分～16時40分
- 2 場所 青森市民図書館8階会議室2
- 3 出席委員 種市成克、長尾亜希子、安田聡子、伊藤理子、三浦博美、
三宅万里子、中園裕、安田真知子、田中高央、鶴岡真理子(10名)
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席職員 市民図書館長 伊藤慶尚、歴史資料室長 工藤大輔、主幹 葛西孝徳、
主幹 村上泰子、主幹 中村篤、主事 渡邊世梨華
- 6 傍聴者 なし
- 7 次第

(1) 令和元年度第1回青森市民図書館協議会

- ・開会
- ・報告事項
 - (1) 青森市民図書館の概要について
(配付資料をもとに事務局より説明)
- ・《館内見学》
- ・その他
- ・閉会

8 主な質疑応答、意見等

《委員》

入館者数について、平成29年度に大幅に減っているのはなぜか。

《事務局》

アウガのテナント撤退の影響だと推測される。なお、平成30年1月から市役所駅前庁舎が開設されたため、翌年度は入館者が増えたものと考えられる。

《委員》

国立国会図書館のサービスについては、どのように利用されているものなのか。

《事務局》

地域の歴史に関するものなどで、市で所有していないものもデジタル化され、閲覧できるため、便利だと感じている。

《委員》

ここ数年、学校の統廃合が急激に進められている。その学校の歴史に関わる文書や学校文集、アルバムなどは貴重な資料であり、地域の人々や学校関係者に保存していただくよう呼びかけてほしい。

《委員》

母校に行ったとき、自分の在籍時の文集が残っており、感激した。大事なことであるという思いである。

《委員》

学校文集や学校写真などは公共図書館などには保存されないので、地域の方々に保存に努めていただきたい。

《委員》

学校が統合された場合、資料は統合先や他の施設に保管している場合が多いと思うが、文集までとなると難しい。

《委員》

文集だと保存用と閲覧用の2冊程度で良いと思う。文集だけで展示会を開いている事例もある。

また、保存方法については、撮影するなど適切に保存しておくことを薦めたい。

《委員》

市民図書館では学校の資料や文集などを所蔵しているのか。

《事務局》

寄贈されたものを郷土資料として所蔵している。

《委員》

図書館の書庫の広さを考えると、寄贈を簡単に受けられない場合もあると思うのであらかじめ相談してみるのが良いと思う。